

景観で見る 神戸港と川崎重工

・神戸工場・兵庫工場



2015.03.18 MS Queen Elizabeth (クイーン・エリザベス 3代目)
90,400 GT 神戸港入港 ホータミナル着棧 岡本 洋



5.5万トンばら積船進水式 2015.03.27
川崎重工 神戸工場 ラジオ関西

主催 大手前大学史学研究所
神戸港振興協会
近畿産業考古学会

於・神戸港振興協会ホール
2016年03月03日

船舶海洋工学会 Kシニア
岡本 洋

I .プロローグ

・自己紹介ー 川重で半世紀・OB、神戸工場在職30+ 年、
灘在住 70- 年 現在 海事関連学会・研究会など

・景観、神戸港域ー

・清盛時代から明治初期の神戸港の地図ー

福原京、兵庫津、高田屋嘉平、造船所草創

景観

そこに秘められた歴史、文化、ドラマが
たんなる景色・風景を景観にたかめる

海に開かれた神戸の美しい港の景色も
川崎重工の歴史、製品群とその背景、ドラマを知れば

神戸港の景観として共有できるものとなろう、たとえ一部がなくなっても

景観とは

- ◆ 自然と人間界の事が入り混じる眺め、現実のながめ (広辞苑)

神戸港域俯瞰と
この地域の
川崎重工各工場

画像取得日 2015/6/4 34° 40'53.06" N 135° 17'23.40" E 標高 21m 高度

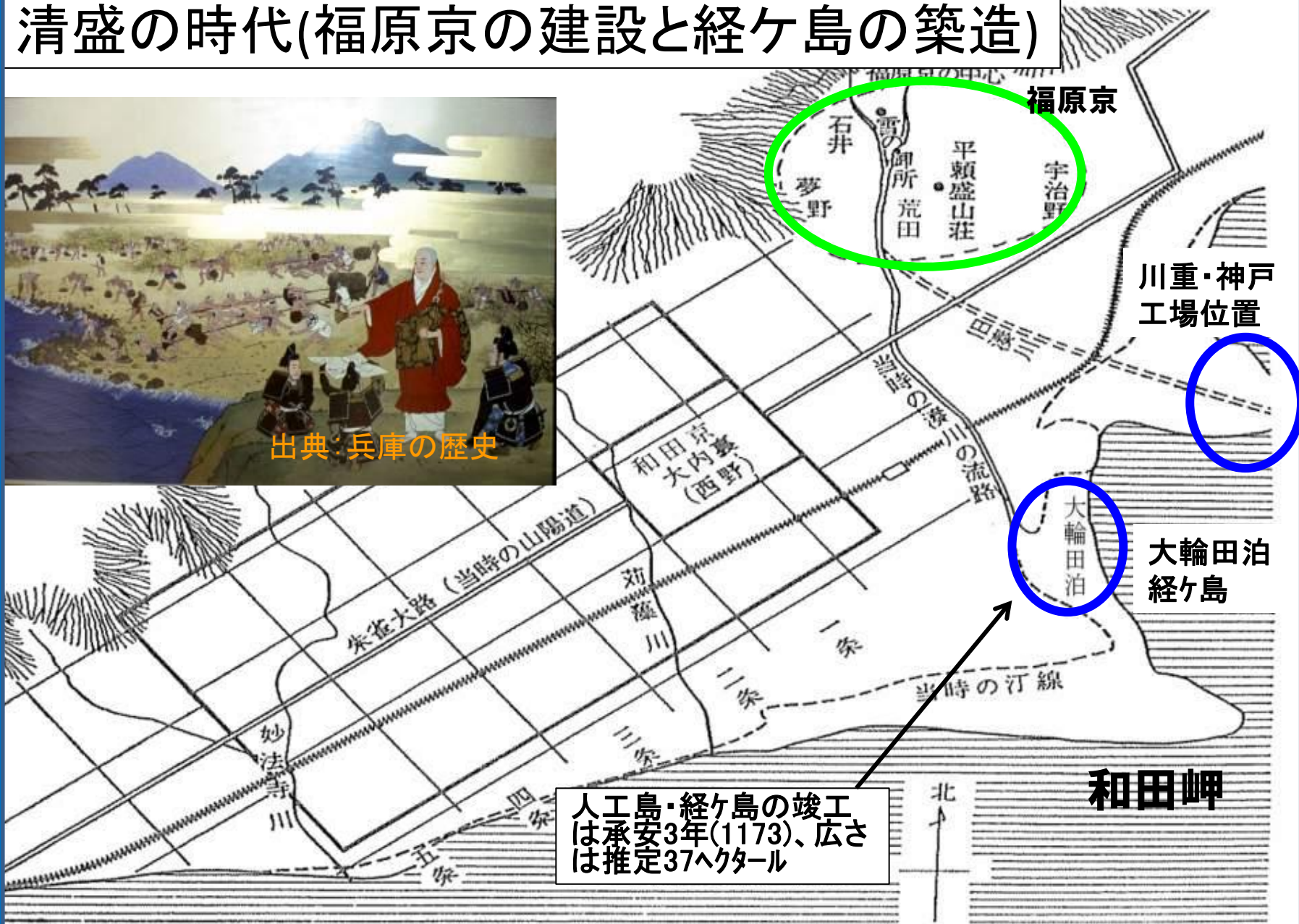
川崎重工の始まりの時代

川崎重工は……

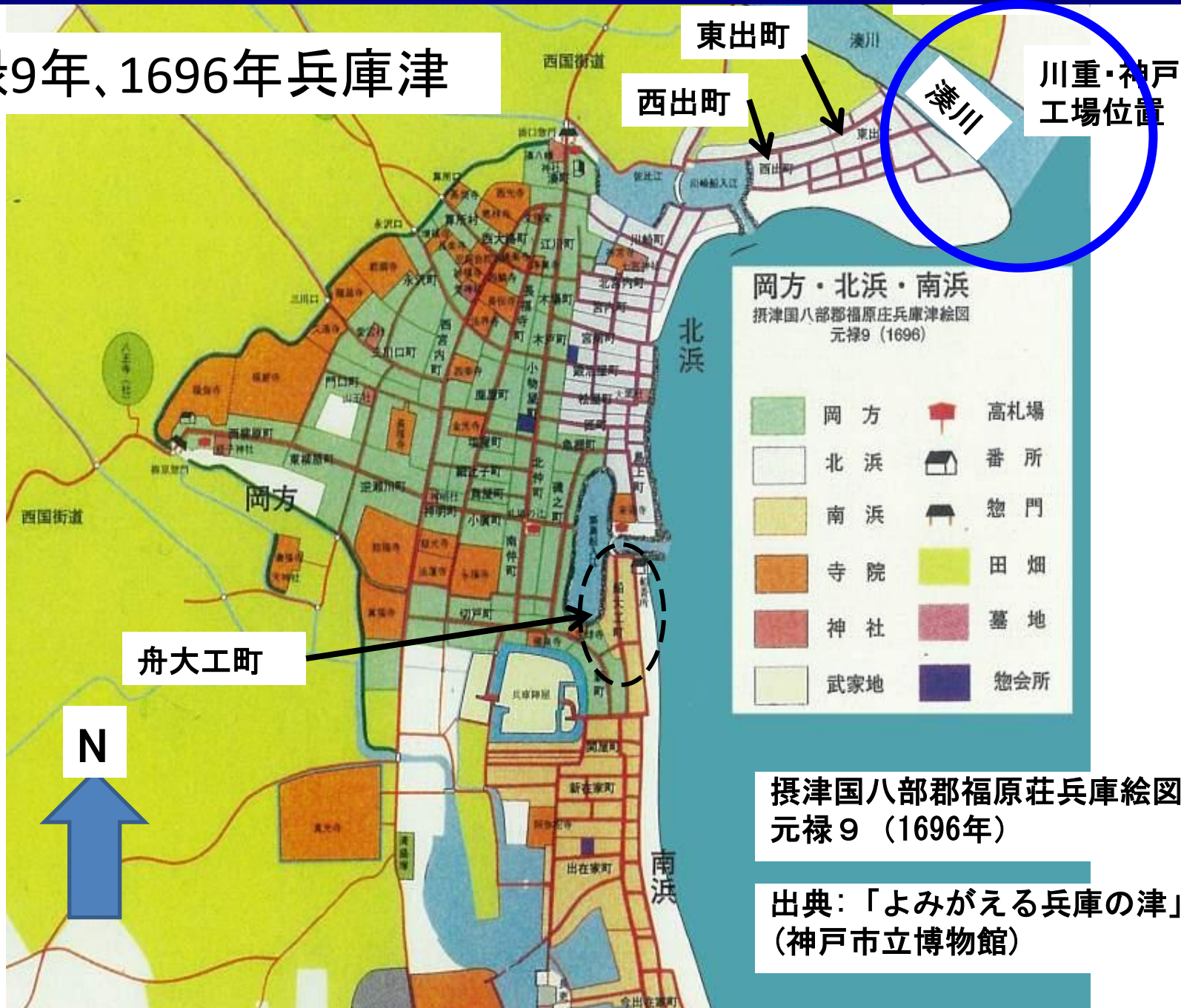
1853年嘉永6年7月8日に「ペリー浦賀来航」。その僅か3か月後に「大船建造の禁」は急遽解禁。造船所建設の高まりの中、個人経営として先ず、1878年(M.11.4)東京築地に設置された川崎正蔵の川崎築地造船所に始まる。西南戦争直後、138年前の事である。郷土・鹿児島友人・相談相手の大久保利通はそのひと月後に暗殺される。まさに激動の時代である。その3年後1881年(M.14)3月兵庫造船所、その5年後1886年(M.19)官営兵庫製作所の現在地に川崎造船所として集約した。この造船所の起業は、明治初年の内外激動のドラマの時代背景を持つ。爾来、海に、陸に、空に、この地から発展を続けている。



清盛の時代(福原京の建設と経ヶ島の築造)



元禄9年、1696年兵庫津



川重・神戸
工場位置

夙川

東出町

西出町

岡方・北浜・南浜
摂津国八部郡福原庄兵庫津絵図
元禄9 (1696)

- | | | | |
|--|-----|--|-----|
| | 岡方 | | 高札場 |
| | 北浜 | | 番所 |
| | 南浜 | | 惣門 |
| | 寺院 | | 田畑 |
| | 神社 | | 墓地 |
| | 武家地 | | 惣会所 |

舟大工町

N

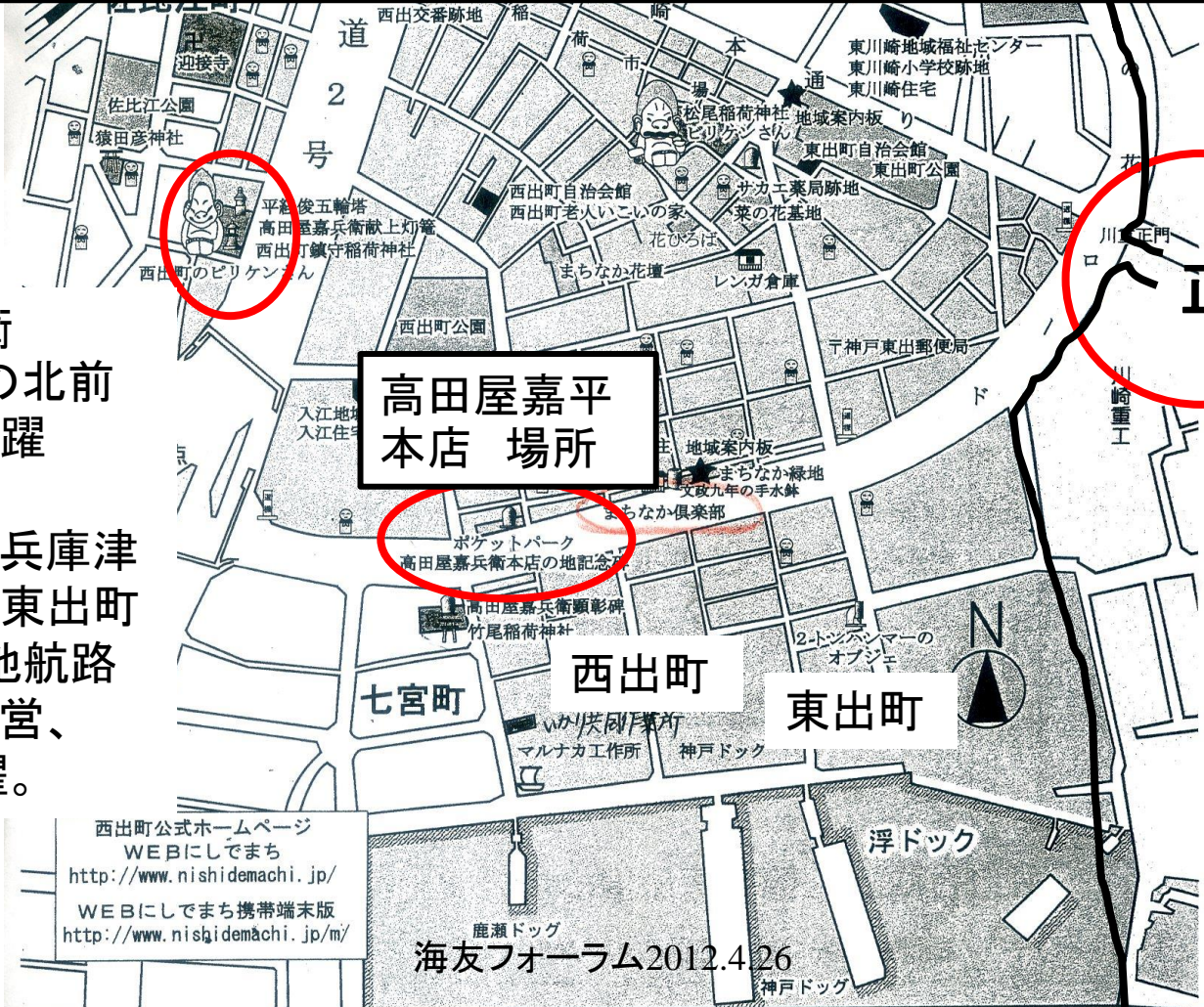
摂津国八部郡福原庄兵庫絵図
元禄9 (1696年)

出典: 「よみがえる兵庫の津」
(神戸市立博物館)



パトリシア会館

高田屋嘉兵衛本店と川重神戸工場



川重
神戸工場

高田屋嘉兵衛 (1769~1827)の北前船における活躍

淡路島出身、兵庫津に出て本店を東出町に置く。蝦夷地航路開拓、漁場運営、廻船業で活躍。

高田屋嘉平
本店 場所

西出町公式ホームページ
WEBにしまち
<http://www.nishidemachi.jp/>
WEBにしまち携帯端末版
<http://www.nishidemachi.jp/m/>

2016/6/22

海友フォーラム2012.4.26

高田屋嘉兵衛 本店 の地に立つ記念碑

川重神戸工場正門近く



JR神戸駅



神戸市兵庫区
西出町
川重神戸工場
正門西すぐ

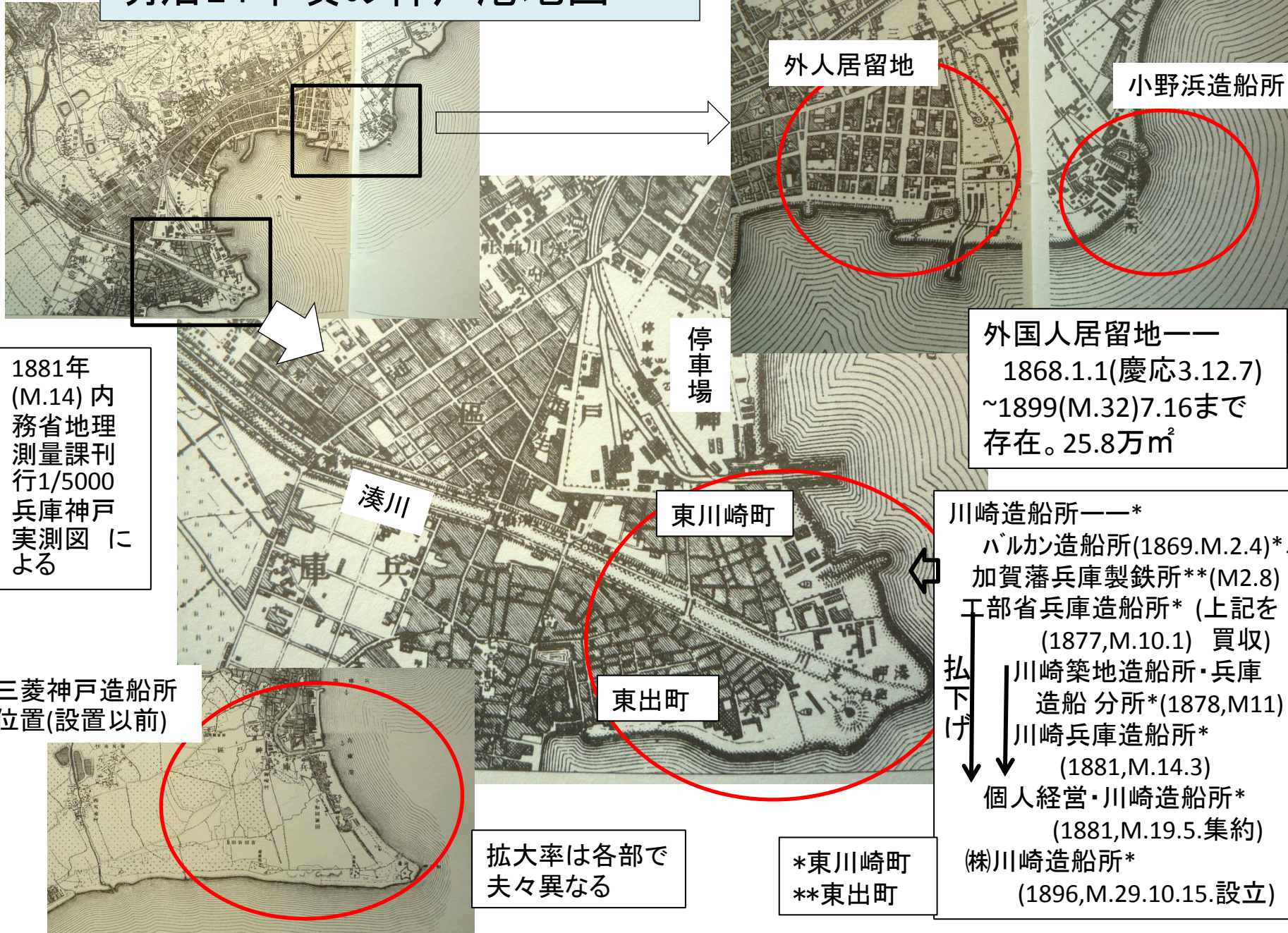


川重神戸工場

2016/6/22

海友フォーラム 2012.4.26

明治14年頃の神戸港地図



1881年 (M.14) 内務省地理測量課刊行1/5000兵庫神戸実測図による

三菱神戸造船所位置(設置以前)

外人居留地

小野浜造船所

外国人居留地——
1868.1.1(慶応3.12.7)~1899(M.32)7.16まで存在。25.8万㎡

停車場

湊川

東川崎町

東出町

川崎造船所——*

- バルカン造船所(1869.M.2.4)*、
- 加賀藩兵庫製鉄所**(M2.8)
- 工部省兵庫造船所* (上記を(1877,M.10.1)買収)
- 川崎築地造船所・兵庫造船分所*(1878,M11)
- 川崎兵庫造船所*(1881,M.14.3)
- 個人経営・川崎造船所*(1881,M.19.5.集約)
- (株)川崎造船所*(1896,M.29.10.15.設立)

↓ 払下げ ↓

拡大率は各部で夫々異なる

*東川崎町
**東出町

Ⅱ.川崎重工業(株) 神戸工場

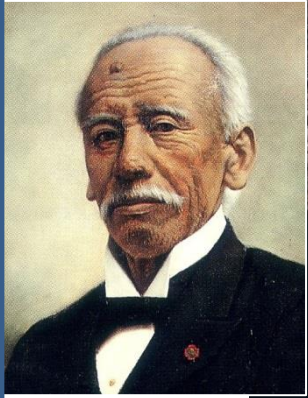
船舶海洋カンパニー
機械ビジネスセンター 略
プラント・環境カンパニー 略

- ・工場の今昔
- ・建造船トピックス(神戸工場関係のみ)
戦前、軍艦等
記録ホルダー 戦後建造船抜粋
- ・Legend Kawasaki No.1 Dock
- ・川崎造船所のガントリークレーン

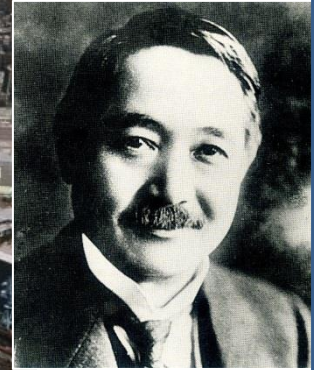
パンフレット 配布 計3種 1組 を参照の事

- ・川崎重工業 神戸工場
- ・KAWASAKI NO.1 DOCK
- ・川崎重工業 車両カンパニー兵庫工場

川崎重工業(株)神戸工場



創業者
川崎正造
1837(天保8)~
1912(大正1)
男爵



初代社長
松方幸次郎
1866(慶応1)~
1950(昭和25)



「川崎重工業(株)百年史」より

川崎重工業(株) 歴史

1878年(M.11)東京築地に川崎造船所
1881年(M.14)神戸に川崎兵庫造船所
1886年(M.19)ここ湊川尻に川崎造船所
1896年(M.29)創業者・川崎正造の個人
経営より株式会社川崎造船所に
初代社長・松方幸次郎~1927(S.2)

その後の発展一初期の神戸地区のみ、他は略
1906年(M.39) 運河工場設立・車両部門
1913年(T.2)兵庫工場に改称
1918年(T.7)葺合工場設置一製板・鉄鋼部門
1950年(S.25) 川崎製鉄(株)として分離
1919年(T.8)川崎汽船(株)設立一船舶部門分離して

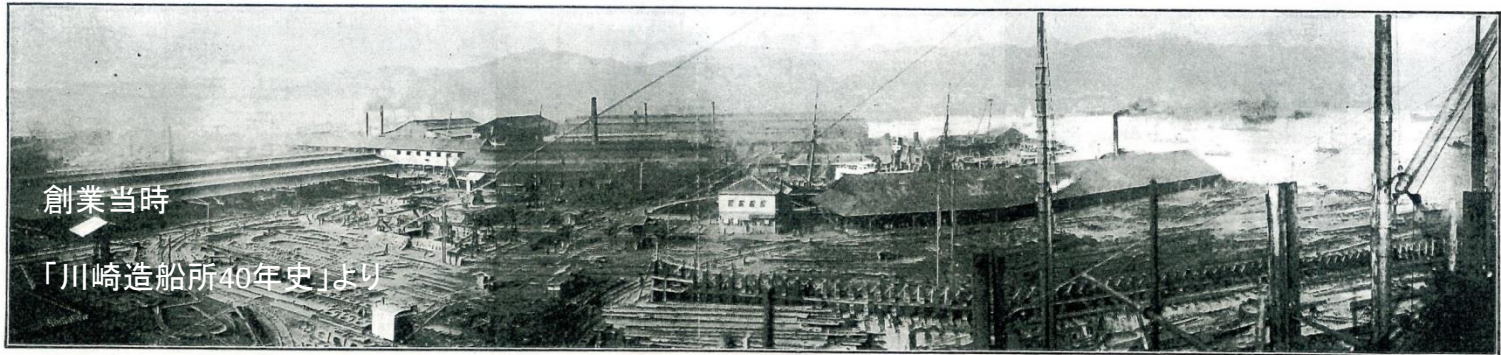
川崎造船所の今昔

旧湊川の川尻の
橋をわたり川崎造
船所への朝の通
勤社員の風景



創業当時

「川崎造船所40年史」より



株 式 會 社 川 崎 造 船 所 全 景

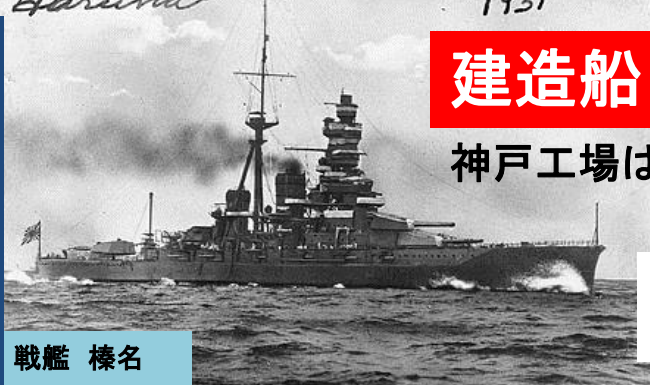


2007年 川崎造船所全景からの神戸港



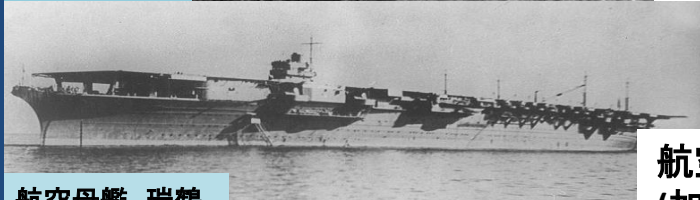
建造船トピックス ー戦前・軍艦等ー

神戸工場は戦前戦後、一時期は艦船工場命名



戦艦 榛名

戦艦一榛名*、伊勢、加賀
計3隻 *民間最初建造戦艦



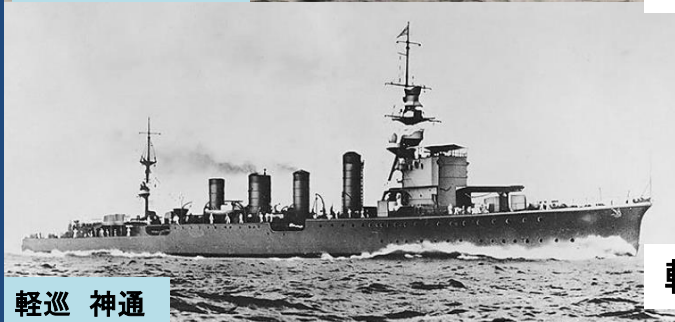
航空母艦 瑞鶴

航空母艦一瑞鶴、大鳳、飛鷹、
(加賀)、生駒(未完)計 4+隻



重巡 麻耶

重巡一 計5隻



軽巡 神通

軽巡一 計5隻



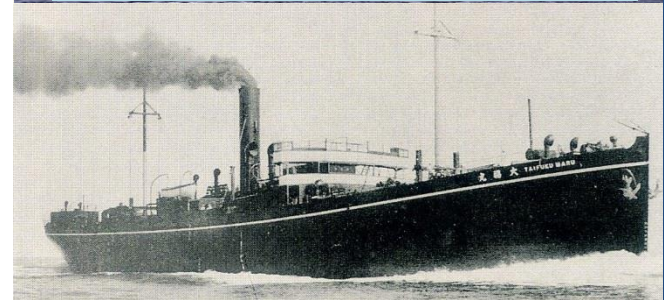
伊6 潜水艦

潜水艦一
計 約50隻

写真「川崎重工業(株)百年史」、その他



帆船 日本丸 (初代) 及び海王丸(初代)



大福丸型標準貨物船 同型 75隻

潜水艦第6 民間造船所として最初の潜水艦建造、1906(M.39)。
佐久間艇長の悲劇

その他艦艇**、商船各種多数
**駆逐艦 約23隻、水雷艇、海防艦、砕氷船、給油艦等

建造船トピックス

記録ホルダー戦後建造船 抜粋



| | |
|---|---|
| 1 | 3 |
| 2 | 4 |

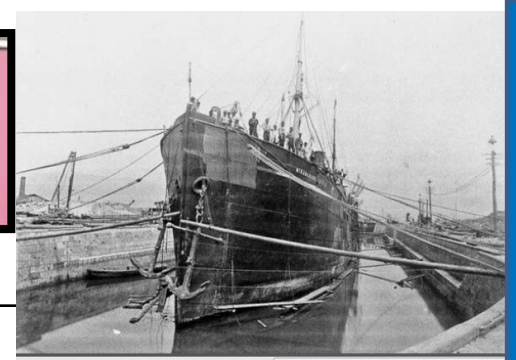


- 1.戦後日本輸出船第1号・タンカー “FERNMANOR” ルウエイ向け 1.8万トン 1950年(S.25)
- 2.自動車専用船Ro/Ro式国内初 「第10とよた」PCC 2,500台積 川崎汽船向け 1970年(S.45)
- 3.冷凍式LPG運搬船「第五ブリジストン丸」7万1,500m³ 新セミメンブレンタンク方式大河内記念生産賞受賞
- 4 高速カーフェリー「さんふらわ」 1.13万GT 日本高速フェリー向け 名古屋/鹿児島航路 1972年(S.45)
性能の優秀さと共に人気を呼び、以後現在まで「さんふらわ」の冠名の高速フェリーは延べ約50隻

写真 「川崎重工百年史」より

Legend Kawasaki No.1 Dock

～111年の時を越えて～



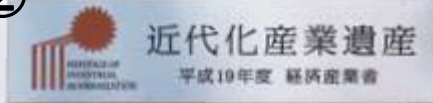
①



1902年11月完成(6年にわたる難工事)

(日露戦争(1904.2.8～1905.9.5)勃発のちょうど2年前完成。
軟弱地盤克服新工法採用、
神戸港における最初の本格的ドックとして完成
2014年 役目を終え、埋戻し
阪神・淡路大震災の被災、船型の大型化などによる。

②

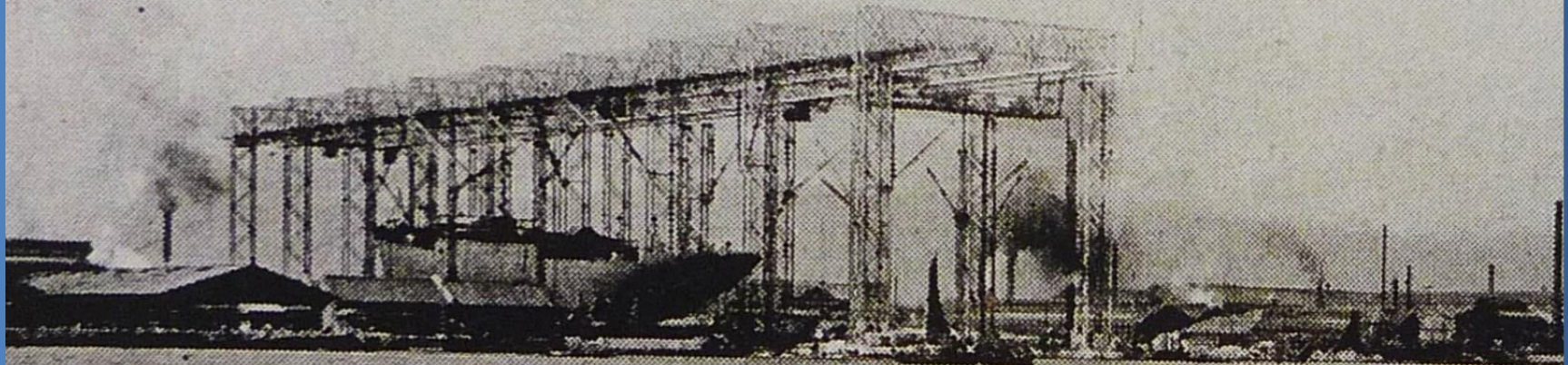


① 1998年(平成10年)
文化庁

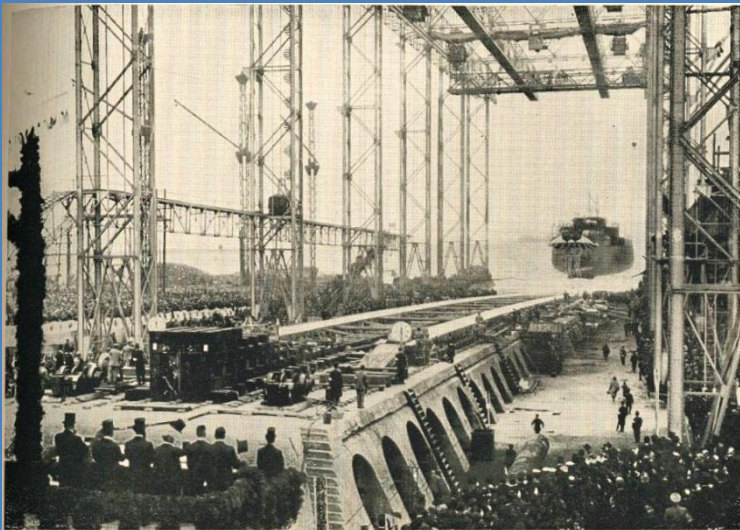
② 2007年(平成19年)度
経済産業省



川崎造船所のガントリークレーン



戦艦「榛名」建造の為に設置。軍艦建造の厳しい時代の中のドラマを孕む。
永らく神戸港のシンボリック景観となる。1962(S.39)年船型大型化、建造法等変化のため解体。



大正十二年一月五日 巡洋艦 榛名

民間造船所として最初の主力艦建造

1911年(M.44)4月川崎造船所は
金剛型戦艦 3番艦「榛名」受注。

4番艦「霧島」は三菱長崎造船所。

この為、川崎造船所は、建造に先立ちドイツ
設計の大型ガントリークレーンを発注、艀装用
にイギリス製大型クレーンを購入万全を期した。
「榛名」: 全長214.6 m 排水量26,330 ton

Ⅲ. 川崎重工業(株)

車両カンパニー 兵庫工場

- ・今昔全景
- ・神戸港と川重製造車両

■ 100年を越える歴史と技術革新

- 1878 ●川崎正蔵、東京築地に造船所創業
- 1896 ●川崎造船所を株式会社組織とする
- 1906** ●川崎造船所運河分工場開設
- 1907 ●木製電動客車3両完成
- 1911 ●当社第1号蒸気機関車6704号を完成
- 1925 ●阪神急行電鉄全鋼製試作電車完成
- 1928 ●川崎車輛株式会社を設立
- 1936 ●流線形モハ52形4両編成を鉄道省殿に納入
- 1945 ●爆撃の工場被災により終戦直前に生産停止状態 9月に生産再開

兵庫工場 1/2

その始まり

日露戦争終結の翌年の1906(M.39)年5月、川崎造船所は、その定款に「汽車・車両・機罐車」を加え、「運河工場」として、工場建設に着手した。

川崎車両(株)1928年(S.3)~1969年(S.44)として独立を経て、川崎重工車両事業本部(兵庫工場として復帰した)。

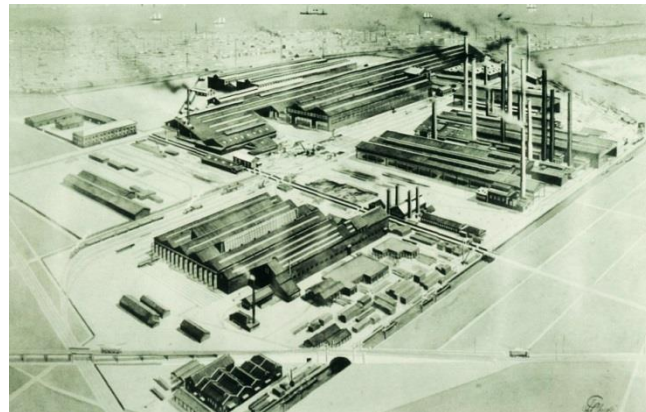
設立以来、110年、新幹線車両をはじめ鉄道車両製造を国内外で地下鉄などと共に世界に展開。



| | |
|---|---|
| 1 | |
| 2 | 3 |

1. 3. 兵庫工場全景
2. 開設当時

兵庫工場は神戸港内、郊外に繋がる兵庫運河に面している。



神戸港



兵庫工場 2/2

神戸港海岸地下を走る 海岸線地下鉄
5000系アルミ製 (H.12)



efSET
自社開発、世界基準・
海外対応新型高速鉄道



JR東海 N700系



JR西日本N700系
7000番代

神戸港と新幹線車両----海を渡る

東北、北陸新幹線車両は兵庫運河から神戸港で積み替えられ、仙台、金沢港へと運ばれた。

ポートアイランド`を走る

自動運転ポートライナー
2000形ステンレス製(H.17)



JR西日本 E7系



IV. ・川重葺合製板工場今昔 川崎製鉄からHATこうべ

- ・カワサキワールド
- ・まとめ—神戸港景観
- ・謝辞
- ・付録
- ・参考文献

葺合工場 川崎製鉄を経て「HATこうべ」

阪神・淡路大震災の被災復興を契機に再開発されて、別の姿となったが、製鉄分野へ進出の歴史とドラマをのこす。



開設当時

葺合工場跡

HAT神戸となった現在



神戸港

カワサキ・ワールド

川崎重工の企業ミュージアムとして2006年(H.18)5月、神戸海洋博物館内に開設。今後の同社の発展、技術の進展を受けて、更に充実が望まれる。

川崎重工は新たに水素社会の実現をめざして取り組むという。神戸港にも関連施設が新たに出現するのも近い。

川崎重工発祥の地・神戸工場を目の前に立つ海洋博物館とカワサキワールドの展示は、同社の手掛けモニュメントと共に象徴的な施設となっている。蓄積された技術遺産とドラマを伝えている。神戸港のいち景観といえよう。



神戸港に面した刈ケン広場。海洋博物館とモニュメント、ポートタワー

まとめー神戸港景観

古く大輪田の泊、兵庫津から新時代の神戸へと大きく発展してきた。多くの歴史遺跡に加え、「山が海へ」と喧伝された多くの人工島で

様変わりした神戸港。阪神・淡路大震災と貿易環境の変化から、往年の「世界の神戸港」は「開港150年」を来年に控えて、21世紀「新時代の神戸港」へと変質をとげつつある。神戸空港進入時、大型クルーズ客船入港時、超大型コンテナ船の入港等は、「海・市街・六甲山」のとマッチした美しさである。それは多くの歴史とドラマを孕んだ景観を演出している。今後の神戸市と神戸港の進化、発展でさらにその内容が深くなってゆくことを期待する。最後に、此処を創業の地とする川崎重工(株)の発展の軌跡が、「神戸港の景観」に今後も貢献を深めることも併せて期待する。(おわり)

付録 1.明治日本の 産業革命遺産.

製鉄、鉄鋼、造船、石炭産業
2015年の第39回世界遺産委員会
 でUNESCOの世界遺産リストに登録

2.神戸港域 の造船所

開設時期 等
 川崎、三菱
 小野浜 など

3.パンフレット3種

神戸工場、
 kawasaki No.1 DOCK
 兵庫工場

1. 明治日本の産業革命遺産——構成資産と産業・時期

| 時期 | 製鉄・製鋼 | 造船 | 石炭産業 |
|------------|---|---|---|
| 初期・ 発展期 | <ul style="list-style-type: none"> ・萩(萩反射炉、大板山たたら製鉄遺跡等) ・鹿児島(集成館) ・葦山(葦山反射炉) ・釜石(橋野鉄鉱山・高炉跡) | <ul style="list-style-type: none"> ・萩(恵美須ヶ鼻造船所跡等) ・佐賀(三重津海軍所跡) ・鹿児島(集成館) ・長崎(小菅修船場等) | <ul style="list-style-type: none"> ・長崎(高島炭鉱、端島炭鉱等) ・三池(三角西(旧)港) |
| 産業形成 期 | <ul style="list-style-type: none"> ・八幡(八幡製鐵所) | <ul style="list-style-type: none"> ・長崎(長崎造船所) | <ul style="list-style-type: none"> ・三池(三池炭鉱、三池港) |

2.神戸港域 造船所のはじまり

| 企業名 | 起業と経営 | 払下げ | 合資会社 | 株式会社 |
|--|---------------|-----------|------------|------------|
| 川崎造船所 | 1878.東京築地・個人 | 1886.川崎兵庫 | — | 1896(M.29) |
| 三菱長崎(参考) | 1884.三菱合名 | 1887 | 1893(M.26) | 1917(T.6) |
| 三菱神戸 | 1905(M.38) 株式 | — | — | 1905(M.38) |
| 神戸小野浜造船所：小野浜鉄工場(1868)→(民営)小野浜造船所(1878) →(官営)小野浜造船所(1884) →閉鎖(1895) | | | | |
| 神戸製鋼 | 1905(M.38) | | | |
| << へりー浦賀来航1853.7(嘉永6)、「大船建造禁」の廃止1853.10、幕府浦賀造船所 1853.1～1868(M.元) >> | | | | |

3.パンフレットの概要 会場にて参加者に配布 3種 川崎重工提供

- 1). 神戸工場 (A4 x 10頁) — 沿革、工場、各カンパニーの概要・規模、製造内容など
 [船舶海洋カンパニー] 建造船—Bilk Carrier, Jet Foil, 潜水艦、官公庁船、
 船台2基～3.4万GT、Dock 3基～5.9万GT、
 大型船は坂出 及び南通・大連(共に中国と合併)工場にて建造、
 [舶用機械] 大型ディーゼル、舶用タービン、舶用推進器。[エネルギー・環境プラント]
- 2). KAWASAKI No.1 DOCK (A4 x 21頁)
 ドック概要、建造プロジェクト、建造工事概要、工事論文、ドック図面等
- 3). 兵庫工場 (A4 x 15頁)
 100年以上にわたり9万両もの鉄道車両建造と技術革新。製品群。
 新幹線で活躍する KAWASAKI の鉄道車両。米・英・アジアを走る多彩な車両
 海外現地法人米国2社。次世代設計開発など紹介

謝辞

川崎重工業株式会社 神戸工場 及び 車両工場 関係者
小野靖彦氏

主要参考文献一標題、著者、出版、出版年など

- 1.「川崎造船所四十年史」 阿部市助・川崎造船所、神戸・川崎造船所、1936.11
- 2.「夢を形に：川崎重工業株式会社百年史」1896-1996 「正」、「資料・年表」
川崎重工業(株)百年史編纂委員会、川崎重工業、1997.6
- 3.「九十年の歩み—川崎重工業小史」 川崎重工業(株)、昭和62(1987).11、
- 4.「未来へつづく100年の軌跡兵庫工場100年史」 川崎重工業株式会社車両カンパニー
兵庫工場100周年記念事業委員会、平成19(2007).3
- 5.川崎重工の礎を築いた船舶修繕施設「第1ドック」が11年の歴史に幕」
Kwasaki News 173 Winter 2014 PR誌 Kawasaki News バックナンバー
- 6.「日米空母機動部隊を回顧」 小野靖彦 「海友フォーラム」2016.1.25
- 7.「よみがえる神戸港 阪神・淡路大震災からの復興の足跡」
運輸省第三港湾建設局震災復興建設部
- 8.「神戸港震災復興誌一 1995年 は阪神淡路大震災一港湾施設の復旧の記録
運輸省第三港湾建設局神戸港湾工事事務所 平成10年1月
- 9.「明治前期・昭和前期 神戸都市地図」 清水靖夫 柏書房 1995年4月
- 10.「航空写真集 新・兵庫を飛ぶ」 田中眞吾、神戸新聞総合出版センター、平成11.12.20
- 11.「造船王 川崎正造の生涯」三島康雄、同文館出版 平成5.7.30
- 12.「火輪の海「上」松方幸次郎とその時代」神戸新聞社編、神戸新聞出版センター、1989.10.20
- 13.「兵庫北関入船納帳」 紹介 岡本 洋 関西造船協会 らん=

—おわり—